

施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (5) 学びによる生きがいの創出

(評価担当者)

教育部長 亀山 隆

基本施策が目指す姿

市民が、それぞれの学びの成果によって、地域社会で活躍しています。

関連する分野別計画

亀山市生涯学習計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	市立図書館の入館者数	人	104,474	H27	101,783	102,247	97,685	61,500		120,000
2	生涯学習講座の受講者数	人	25,320	H27	24,185	22,106	23,098	8,590		27,850
3	生涯学習人材バンクを活用した講座開催数	回	14	H27	12	12	13	9		17
4										
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	生涯学習講座が充実している	重要度 0.91	0.83	0.81	
		満足度 0.18	0.13	0.15	
2	公民館などの施設や行事内容が充実している	重要度 0.75	0.70	0.68	
		満足度 0.09	0.12	0.04	
3	図書館が充実している	重要度 0.94	0.91	0.91	
		満足度 0.07	0.15	0.14	
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>コロナ禍にあっても、感染症対策の徹底や内容・時期などの変更、講座によってはオンライン方式の採用などの工夫を模索することで、学びの機会提供、新図書館の整備と併せた読書活動の展開を維持することができた。また、誰もが学べる機会提供の充実に向けて、ICTを活用した新たな手法構築の試行も積み重ねることができた。これらの実績と成果により個別判定をAとした施策の方向性もあるが、「学び」総体の実績としては減少した状況にあることから総合判定をBとした。</p>

反省点・課題

新図書館の「亀山文化情報プラザ」の設計内容も含め、新図書館の具体についての情報発信はまだ不十分であるため、様々な媒体を用いて繰り返し情報発信を重ねることにより、学びの拠点となる新図書館への期待醸成を高めていく必要がある。
 地域課題解決に向けた、人材育成の仕組みとして「かめやまキャンパス」は、地域人材のネットワーク構築や実践活動の開始など、当初想定していた成果が表れ始めているが、講座間に差があり一定水準までの均質化を図る必要がある。また、コロナ禍において「かめやまキャンパス」においてはオンライン講座などの展開が図れたが、様々な状況下や対象者に対して学びの機会提供ができるように、公民館講座においてもその展開手法を構築し、「誰でも・どこでも」学べる環境整備を進める必要がある。

今後の展開方針

新図書館整備の活動具体の構築に向けて、様々な立場の市民を対象としたWSの開催や、連携が想定される学校・園・地域まちづくり協議会・福祉団体・市内事業者などの意見調整を重ねる中で、それぞれが図書館にどのように参画していくかの意識を確立していくとともに、新図書館に関しての具体像の定着化を図っていく。誰もが学べる機会の充実に向けて、オンラインと対面の学びのハイブリッド化に向けた具体的な手法構築を図り、生涯学習計画の改定と併せて次年度以降の学びのあり方について再編するとともに、講師や地域まちづくり協議会との意識共有や課題整理を重ねていく。また、「誰ひとり取り残さない」観点から、障がい・高齢者など従来の講座の開催手法では参加困難な学び手への配慮、生産人口世代の学び直し、高校生などに向けたカリキュラムも併せて検討を行う。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		地域へ生かせる学びの展開					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	2年目となるかめやま人キャンパスについては、コロナ禍の中、全受講者と対象としたZoomの体験講座を実施するとともに、起業人講座は基本的にオンラインと会場参加のハイブリット型での講座を実施した。また、歴史博物館の企画展示と連動した講座も開催した。		かめやま人キャンパスについては、オンラインを活用した講座や、講座受講者を講師にした合同講座など、受講者の実践活動につながる講座を実施することができた。 また、かめやま人キャンパス受講生により、市民活動を行う団体が2団体結成された。			
		順調に進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額 / 決算額 [千円]	活動	成果
	17055	地域人材キ拉里育成事業		主	15,206 / 13,363	A	A
	7006	一般事業(商工業振興事業)		標	60,798 / 57,456	B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果
	歴史博物館自由研究の広場とのコラボレーション講座					A	A

施策の方向		読書活動の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	新図書館の整備では、令和3年1月に再開発組谷と参加組合員契約を締結し、保留床購入を進めるとともに、郷土資料コーナーの展示設計を実施した。 また、令和3年3月に「亀山市図書館サービス実施計画」を策定した他、図書館フォーラムと新図書館での活動を見据えた市民ワークショップを開催した。		初めての図書館フォーラムでは、基調講演と4名のパネラーによるパネルディスカッションを実施することにより、新図書館開館に向けた機運を高め、図書館の必要性や活用方法など、今後の図書館のあり方について市民とともに考えることができた。また、読書による健康的な生活を意識した健康マイレージ事業の展開との連携を図ることができた。			
		順調に進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額 / 決算額 [千円]	活動	成果
	17107	図書館整備事業		主	812,410 / 810,865	A	A
	4072	健康増進事業		標	9,421 / 8,595	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果
	かめやま読書チャレンジ					A	A
	図書館まつり月間の開催					A	A

施策の方向		だれもが学べる環境づくり					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	中央公民館講座については6月から開講を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、9月以降の開講とした。そのため、一部の講座については中止とし、日程調整できるものについては延期をして講座を実施した。		中央公民館講座については、前年度と比較し講座開催数は減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して講座を運営することで、可能な限り学びの機会を提供し、様々なジャンルの講座を実施することができた。ただ、かめやまげんきっこ育成事業の中止あるいは公民館講座などにおける受講生減少など、想定した実績には到達していない。			
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額 / 決算額 [千円]	活動	成果
	17055	地域人材キ拉里育成事業		主	15,206 / 13,363	A	A
	17086	かめやまげんきっこ育成事業		主	1,358 / 615	C	C
	4072	健康増進事業		標	9,421 / 8,595	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果